

## 令和元年度第1回島根県総合教育会議でいただいたご意見

### 1 第1回島根県総合教育会議について

(1)開催日時 8月2日 11:00～11:50

(2)出席者 知事、教育委員会（教育長、教育委員）、肥後島根県総合教育審議会会長

(3)議題 島根の教育について

### 2 いただいたご意見

#### 〔全般事項〕

- ・都会の過密の問題はメディア等に載らないが、島根での生活には過密の問題がなく、過密でないというメリットを大人が意識して伝えなければならない。
- ・社会で流れる情報で不足しているところを補うことが、島根に生まれた子どもが、後で後悔するような選択とならないようにするために、自立して自分の人生を選ぶために必要
- ・いい人材は、いい人材をつくってくれる。いい人材を育てるということは、よいことを拡散していることになる。

#### 〔ふるさと教育、地域資源を活かした教育〕

- ・地域に開かれた教育、地域と連携した教育を進める、地域を素材にした教育を進めていくことに期待
- ・子どもたちが生まれ育ったふるさとをすばらしいところであると発信できる、語れる人間に育てて欲しい
- ・しまね留学で、地元の子どもが他県から来られた子どもに島根のよさに気付かせてもらっているところはすばらしい
- ・幼・保育園、小学校、中学校と、小さい頃からいろんな大人と関わることによって、必然的に子どもたちの気持ちの中に地域を愛する、地域に対する思いが生まれてくる
- ・心身が育つ時期に地域のよさを知るというのは島根のふるさと教育の強み

### 〔確かな学力、一人ひとりの教育ニーズに応じた多様な学び〕

- ・子どもの成長に応じて確かな学力を身に付け、その知識をもとに地域の課題を、国語的な能力、算数的な能力などいろんな知識を使って物事を考えていくということは、確かな学力をもたなければいけないということを再認識するよい機会
- ・一人ひとりの教育ニーズに応じた多様な学びのスタイルを提供していくことは大事
- ・教員の働き方改革は子どもに向き合う充実した教育につながる。
- ・子ども一人ひとり、児童生徒一人ひとりが希望する世界で、本当に活躍するための学力とは何か、永遠のテーマ

### 〔多様性、違いを尊重する〕

- ・多様性、一人ひとりの違い、いろいろな障がい、これらのきちんとしたフォロー

### 〔大人も学び続ける〕

- ・私たち大人が島根のよさを今まで以上に知り、堂々と語る、島根はいいところだよと自分たちが語り、島根の子育てに自信をもつ、まずは大人が自信をもつことが必要
- ・地域全体で子どもたちを育てる
- ・子どもたちの中には、大人や地域の方々の姿や活動を見る中で、どのような職業につきたいとか、どういうふうになりたいとか、夢や目標を見い出して、その方向に向かう子どももいる。

# 「島根創生計画」「教育大綱」「教育ビジョン」の関係

**教育ビジョン**は教育大綱の教育理念を踏まえつつ、全国的な教育の動向や、これからの時代と地域の教育課題を多角的に分析し、

- ・ 求められる人間像や能力像
- ・ 将来を展望した教育施策の重点事項を示すことによって、**具体の教育施策に方向性と推進力を与えるもの。**

**教育大綱**は「島根創生計画」のうち、教育に関連する計画を踏まえ、今後5年間の教育・学術及び文化の振興について教育理念を定め、行うべき施策の概要を示す。

具体の  
教育施策

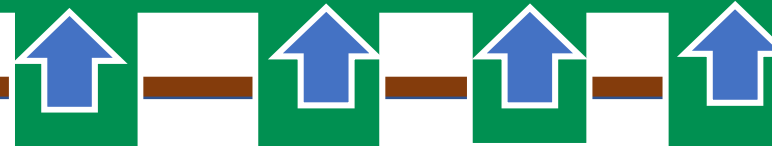
どこに向かって  
どのように

教育ビジョン

教育理念と  
主要な教育施策の  
概要

教育大綱

どんな教育を



教育に関する計画

島根創生計画